

とよしん 景況調査

NO.133

2023年10月発行

- 景況アンケート調査
(2023年7月～9月期実績 2023年10月～12月期見通し)
- 特別調査
- スポットライト ～がんばる地元企業～
(掲載企業：有限会社まんてん.)



おたくも うちも

豊橋信用金庫

《第133回景況アンケート調査》

総括判断

『当地区の景況は、原材料価格等の高騰により厳しい状況が続いているものの、緩やかに持ち直している。』

とよしん景況天気図(業況DI)

	2022年 7~9月	10~12月	2023年 1~3月	4~6月	当期実績 7~9月	来期見通し 10~12月
全業種総合	 ▲3.7	 ▲2.4	 ▲1.9	 4.3	 3.5	 6.8
製造業	 ▲7.1	 ▲4.5	 ▲7.9	 1.4	 ▲1.5	 4.5
卸売業	 0.0	 ▲2.7	 1.4	 0.0	 0.0	 7.6
小売業	 ▲3.4	 ▲1.7	 ▲6.3	 6.3	 0.0	 15.6
サービス業	 ▲3.9	 ▲3.1	 2.7	 5.7	 5.5	 6.8
建設業	 ▲3.9	 ▲1.9	 0.0	 7.4	 6.4	 4.6

《天気図の見方(DI)》



《調査要領》

調査期間

2023年8月1日(火)～8月31日(木)

調査対象時期

2023年 7月～ 9月期実績
2023年10月～ 12月期見通し

調査方法

当金庫職員による聞き取りアンケート調査

調査対象企業

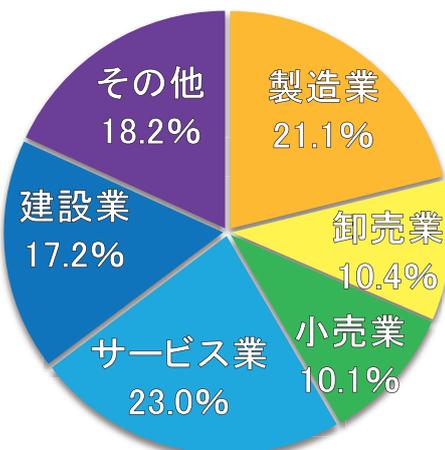
当金庫お取引先企業 634社

分析方法

DI(ディフュージョン・インデックス)を中心とした分析

※DIとは、各調査項目で「増加(上昇・良い)」と回答した企業割合から、「減少(下降・悪い)」と回答した企業割合を差し引いた値を指数化したものをいいます。

調査対象企業(634社)の内訳



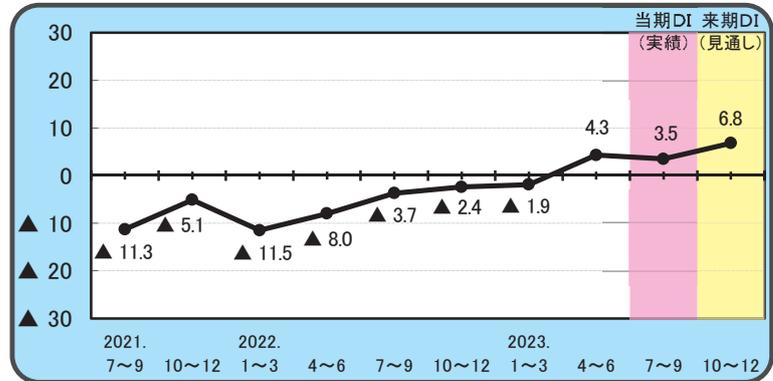
全業種総合

～業況・売上は悪化、収益は改善～

業況

【当期(7～9月)DIの実績】
3.5 (前期比▲0.8ポイント)

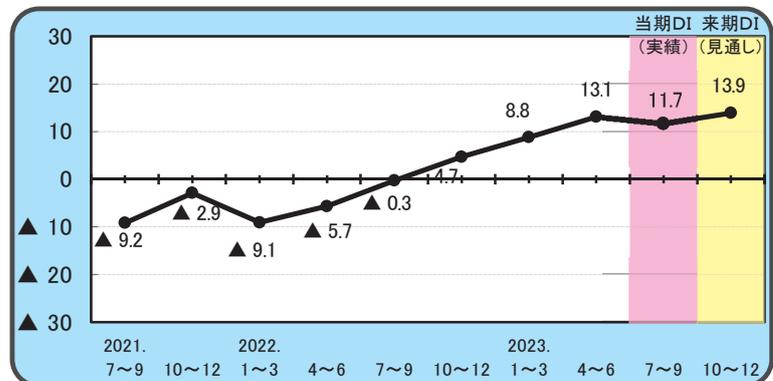
【来期(10～12月)DIの見通し】
6.8 (当期比+3.3ポイント)



売上

【当期(7～9月)DIの実績】
11.7 (前期比▲1.4ポイント)

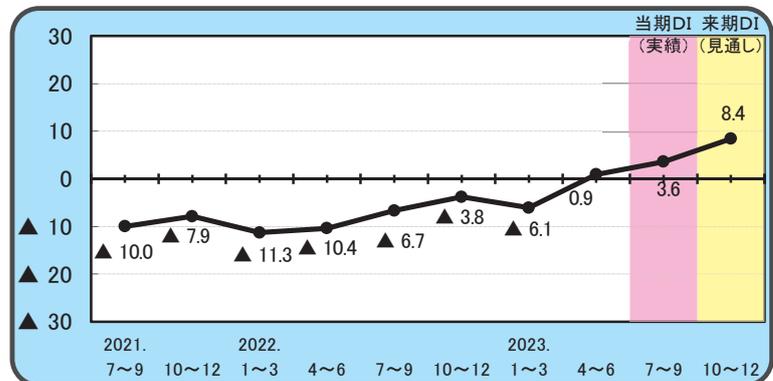
【来期(10～12月)DIの見通し】
13.9 (当期比+2.2ポイント)



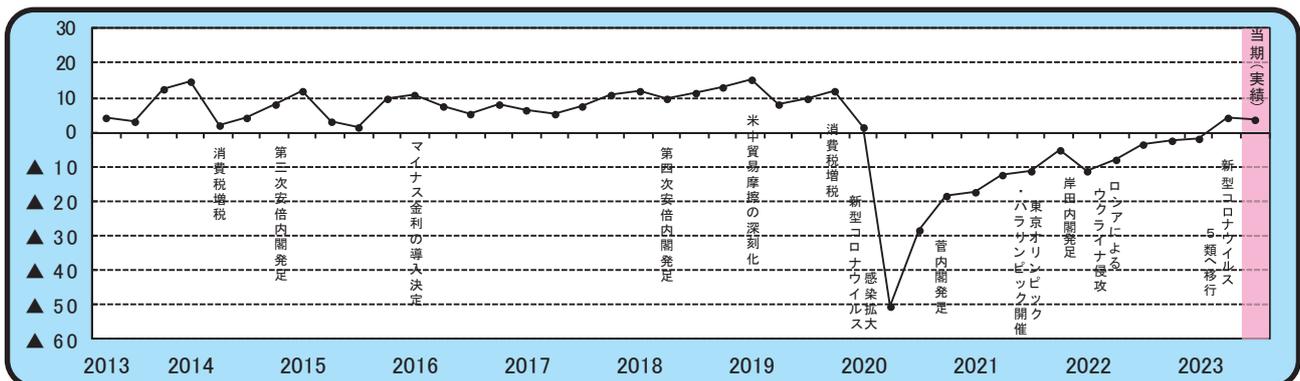
収益

【当期(7～9月)DIの実績】
3.6 (前期比+2.7ポイント)

【来期(10～12月)DIの見通し】
8.4 (当期比+4.8ポイント)



過去10年間の業況DI推移



製造業

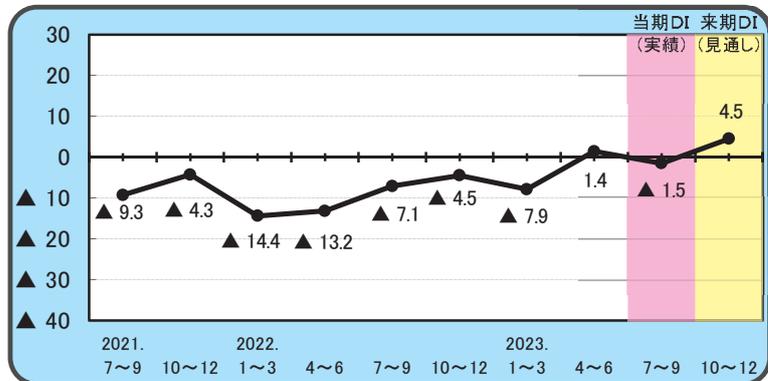
～業況・売上は悪化、収益は改善～

当期業況DI (実績) 2023年7～9月	来期業況DI (見通し) 2023年10～12月
▲1.5	4.5

業況

【当期(7～9月)DIの実績】
▲1.5 (前期比▲2.9ポイント)

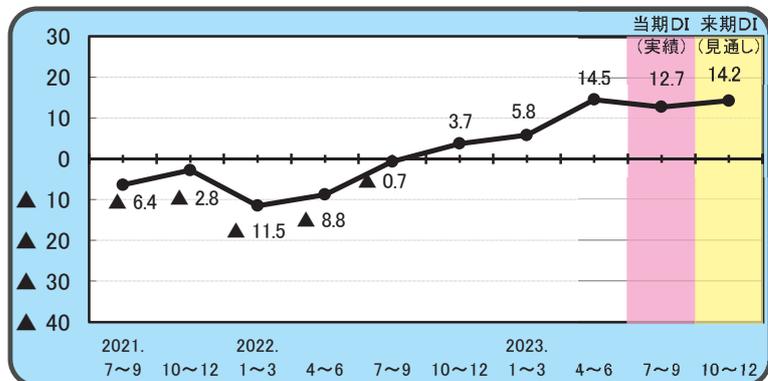
【来期(10～12月)DIの見通し】
4.5 (当期比+6.0ポイント)



売上

【当期(7～9月)DIの実績】
12.7 (前期比▲1.8ポイント)

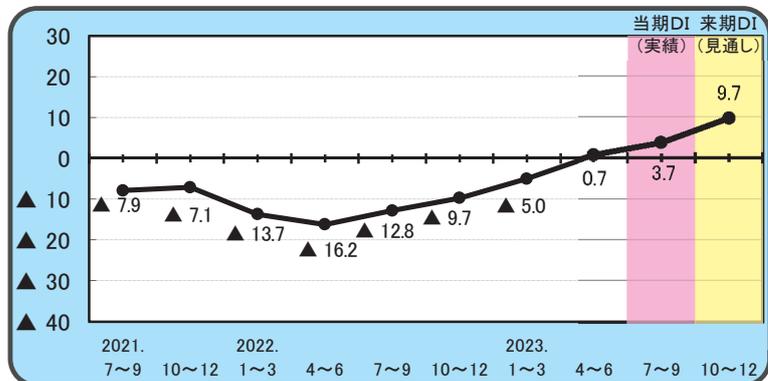
【来期(10～12月)DIの見通し】
14.2 (当期比+1.5ポイント)



収益

【当期(7～9月)DIの実績】
3.7 (前期比+3.0ポイント)

【来期(10～12月)DIの見通し】
9.7 (当期比+6.0ポイント)



- ・電気機器関連では、円安の継続、原材料価格の高止まり等により、製造原価は依然高水準となっている。中小企業は価格転嫁が十分できず、厳しい状況にある先が見受けられ、収益性の悪化が懸念される。
- ・菓子製造業は、インバウンド需要の増加にて観光地からの受注が堅調である反面、スーパーマーケット等小売店の受注は低迷。原材料価格は高止まりが続き、また、人手に不足感があり、採用賃金の増額や残業代金の増加等が収益を圧迫している。
- ・自動車関連についても、原材料価格等の高騰が負担となっている。半導体や部品不足による自動車メーカー生産調整の影響も続き、下請け企業は厳しい状況が続いている。

卸売業

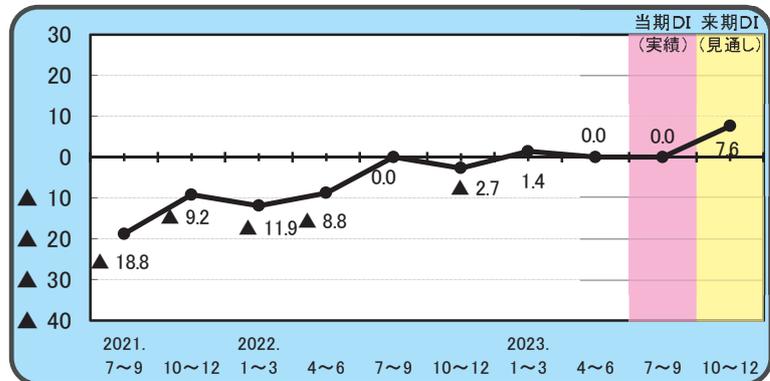
～業況・収益は横ばい、売上は悪化～

当期業況D I (実績) 2023年7～9月	来期業況D I (見通し) 2023年10～12月
☁️ 0.0	☁️ 7.6

業況

【当期(7～9月)D Iの実績】
0.0 (前期比±0.0ポイント)

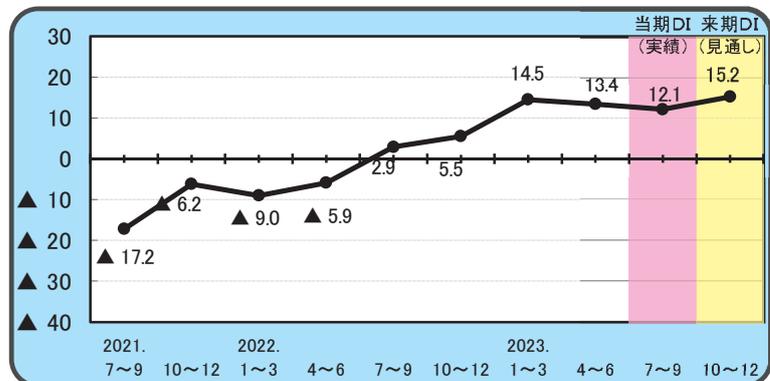
【来期(10～12月)D Iの見通し】
7.6 (当期比+7.6ポイント)



売上

【当期(7～9月)D Iの実績】
12.1 (前期比▲1.3ポイント)

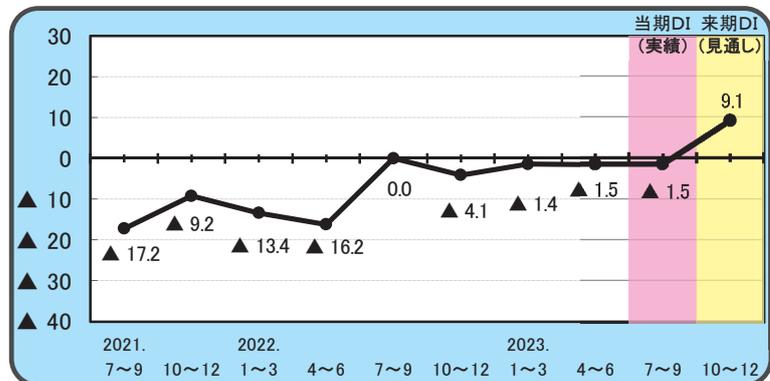
【来期(10～12月)D Iの見通し】
15.2 (当期比+3.1ポイント)



収益

【当期(7～9月)D Iの実績】
▲1.5 (前期比±0.0ポイント)

【来期(10～12月)D Iの見通し】
9.1 (当期比+10.6ポイント)



- ・木材価格は、国産材は上昇傾向、外国材は円安により引続き高水準にある。住宅需要に変化がないことから、大きな価格変動はないものと思われるが、光熱費、燃料費、人件費等経費は増加しており、資金繰りを圧迫している。
- ・食料品関連卸売業は、土産品や業務用は順調。スーパーマーケット関連においては価格転嫁が順調にできているが、今後も高値が続くことにより消費者マインドが冷え込むことが懸念されている。
- ・青果卸売業は、外食産業の受注増加や、猛暑での果菜類の出荷数減少などから市場価格は上昇傾向にある。原油高による輸送コスト負担が重く、引続き収益環境は厳しい。

小売業

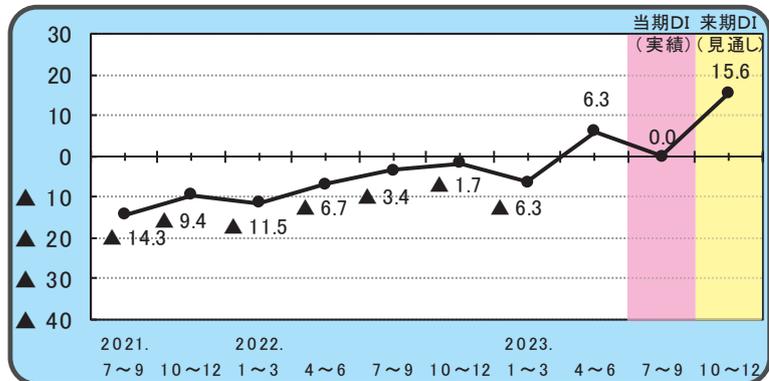
～業況・売上・収益すべて悪化～

当期業況DI (実績) 2023年7～9月	来期業況DI (見通し) 2023年10～12月
 0.0	 15.6

業況

【当期(7～9月)DIの実績】
0.0 (前期比▲6.3ポイント)

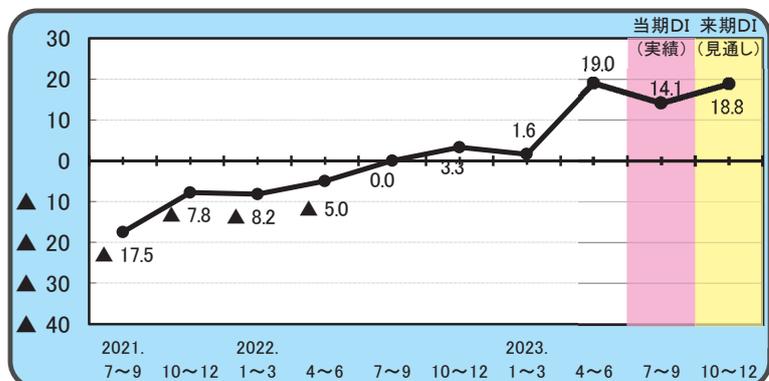
【来期(10～12月)DIの見通し】
15.6(当期比+15.6ポイント)



売上

【当期(7～9月)DIの実績】
14.1 (前期比▲4.9ポイント)

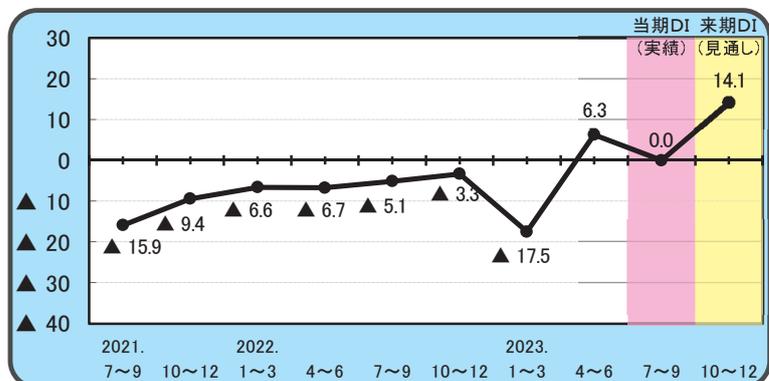
【来期(10～12月)DIの見通し】
18.8 (当期比+4.7ポイント)



収益

【当期(7～9月)DIの実績】
0.0 (前期比▲6.3ポイント)

【来期(10～12月)DIの見通し】
14.1(当期比+14.1ポイント)



- ・自動車の新車販売台数は、部品不足は完全に解消されていないものの、引続き各社の挽回生産により増加している。中古車販売では、新車販売の増加に伴い中古車市場の在庫も増加傾向にあるが、大きな輸出国であるロシアへの中古車輸出規制の影響などもあり、先行き不透明な状況である。
- ・食料品や日用品の物価高が続き、消費者の購買意欲は低調な状況が続くと見られることから、事業者は消費者ニーズに合わせた施策が求められている。
- ・ガソリンスタンドでは、ガソリンの高値が続くことによる自動車利用の減少による売上減少、人件費高騰等による収益環境の悪化が懸念される。

サービス業

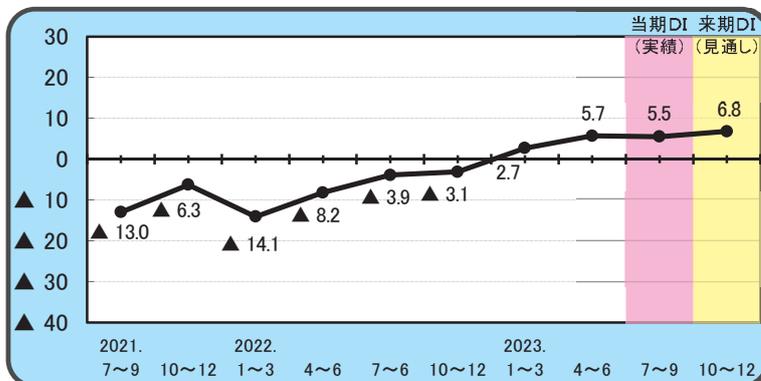
～業況・売上は悪化、収益は改善～

当期業況D I (実績) 2023年7～9月	来期業況D I (見通し) 2023年10～12月
☁️ 5.5	☁️ 6.8

業況

【当期(7～9月)D Iの実績】
5.5 (前期比▲0.2ポイント)

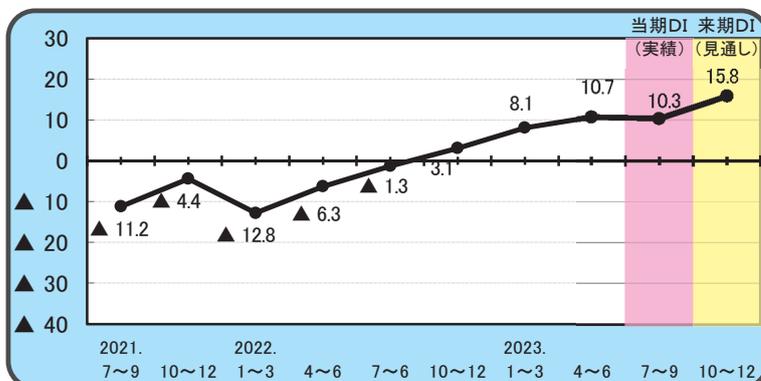
【来期(10～12月)D Iの見通し】
6.8 (当期比+1.3ポイント)



売上

【当期(7～9月)D Iの実績】
10.3 (前期比▲0.4ポイント)

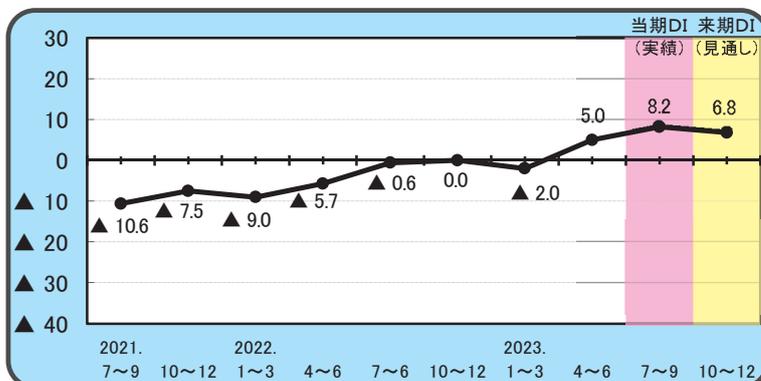
【来期(10～12月)D Iの見通し】
15.8 (当期比+5.5ポイント)



収益

【当期(7～9月)D Iの実績】
8.2 (前期比+3.2ポイント)

【来期(10～12月)D Iの見通し】
6.8 (当期比▲1.4ポイント)



- ・ 飲食業では、コロナ前の水準までは届かないものの、来店客数が回復してきており、年末にかけて益々の増加が期待されている。仕入価格等の高止まりが続き、価格転嫁を行い改善する先もあれば、依然厳しい先もみられる。
- ・ 宿泊業では、夏休みシーズンのイベント再開などによる利用や帰省利用、学生の団体利用などが戻り、平時売上より増加。今後は、年末年始の宿泊利用者の確保を見込んでいる。
- ・ 医療・保健衛生業では、一般患者の来院増加により売上は回復傾向であるが、光熱費や食材費等の高止まりなどが収益への懸念材料となっている。引続き、マイナンバーカード対応による設備導入負担の増加も見込まれる。

建設業

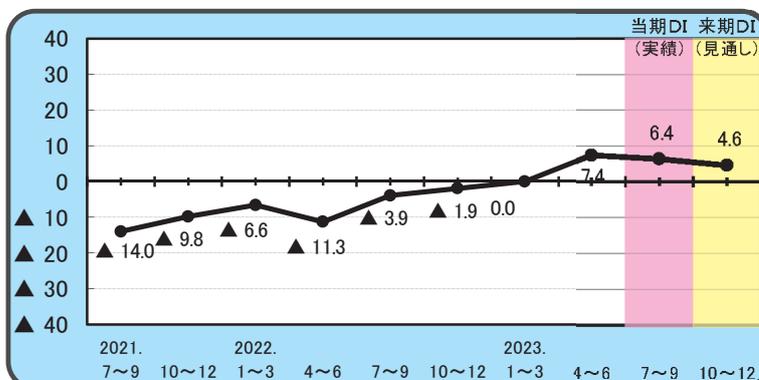
～業況・売上は悪化、収益は改善～

当期業況DI (実績) 2023年7～9月	来期業況DI (見通し) 2023年10～12月
☁️ 6.4	☁️ 4.6

業況

【当期(7～9月)DIの実績】
6.4 (前期比▲1.0ポイント)

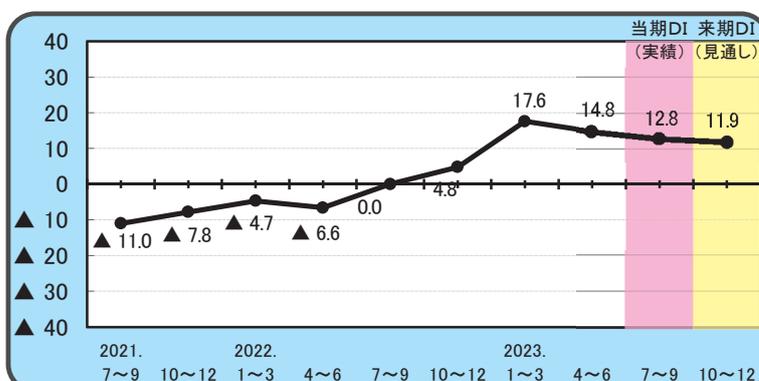
【来期(10～12月)DIの見通し】
4.6 (当期比▲1.8ポイント)



売上

【当期(7～9月)DIの実績】
12.8 (前期比▲2.0ポイント)

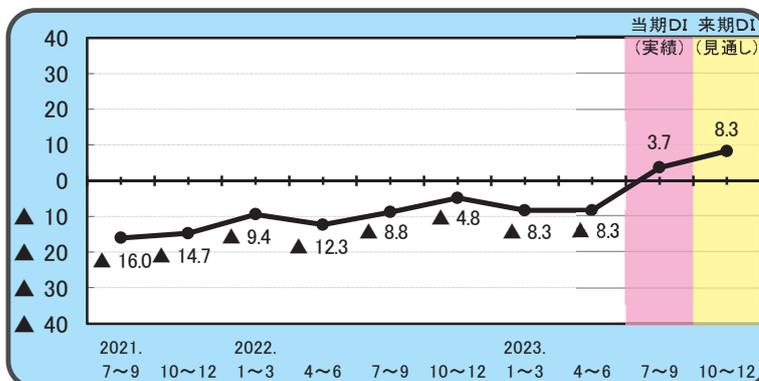
【来期(10～12月)DIの見通し】
11.9 (当期比▲0.9ポイント)



収益

【当期(7～9月)DIの実績】
3.7 (前期比+12.0ポイント)

【来期(10～12月)DIの見通し】
8.3 (当期比+4.6ポイント)



- ・コロナによる影響は収束しつつあるも、業況に大きな改善は見られない。建築資材価格の高止まりも依然続いており、先行きは厳しいと見込まれる。
- ・公共工事については、例年と同水準であるが、円安の影響で木材、建材、石油製品価格等の負担に拍車がかかり、高い収益は見込めない状況。
- ・慢性的な人手不足や技能労働者の高齢化により、長時間労働が常態化している。引続き先を見据えた若手育成が課題。特に、若手が不足しており、受注機会の損失や技術継承の遅延などから事業存続の危機を感じている事業者も見られる。

その他

- ・農業（キャベツ・輪菊）
- ・水産業（養鰻）・運輸業・不動産業

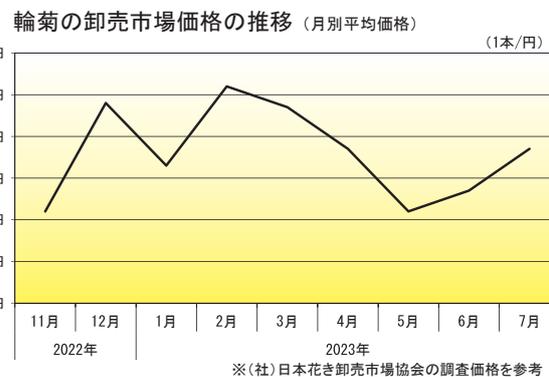
農業（キャベツ）

外食産業向けの需要回復に伴い、価格は前年より高い推移が見込まれるものの、豪雨や猛暑による生育の遅れが見られ、出荷時期は遅れる見込み。物流コストの高止まりにより、収益環境は厳しい状況が続いている。



農業（輪菊）

7月下旬から8月中旬頃は、お盆、お彼岸による需要の高まり、コロナの5類移行に伴う人流の活性化、高温障害による出荷が遅れた農家の増加などにより、価格は高値で推移するも、燃料、肥料、人件費の高騰、葬祭の縮小などから引続き収益環境は厳しい。



水産業（養鰻）

近時の海外情勢から飼料代の高騰やシラス価格の高騰が続いているが、販売価格への転嫁は進んでいる。今後、冬にかけての気温低下による施設暖房費やメンテナンス費用などの負担増加分について、どの程度まで価格転嫁できるのかが懸念材料となっている。

運輸業

原油価格が15年ぶりの最高値となる高騰を受け、死活問題となっていることから、燃料費以外の経費を下げる方法を模索している。引続きドライバー不足も課題となっており、EC市場の拡大に伴う物流量の増加に対応しきれない状況が見られている。

不動産業

豊橋市の売買の動きは鈍くなっているものの、人気エリアの物件情報は少なく、価格は上昇傾向にある。大型商業施設の進出や東三河地域で人口が唯一増加している豊川市では、市街地、郊外問わず不動産価格は上昇傾向にあるが、供給不足と需要過多が続いている。

《特別調査》

《調査要領》

調査期間

2023年8月1日(火)～8月31日(木)

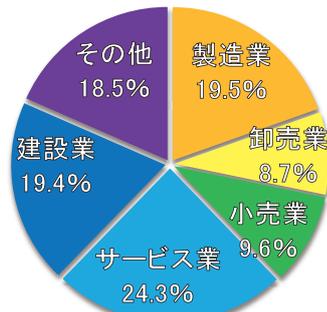
調査方法

当金庫職員による聞き取りアンケート調査

調査対象企業

当金庫お取引先企業 1,228社

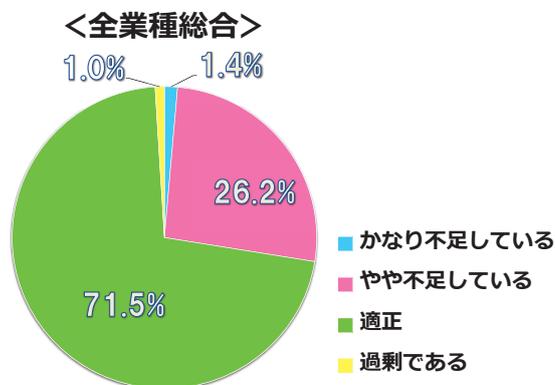
調査対象企業(1,228社)の内訳



●問1. 貴社の現在の人手の状況についてお答えください。

全業種総合の回答では、「適正」71.5%、「やや不足している」26.2%、「かなり不足している」1.4%、「過剰である」1.0%となっている。

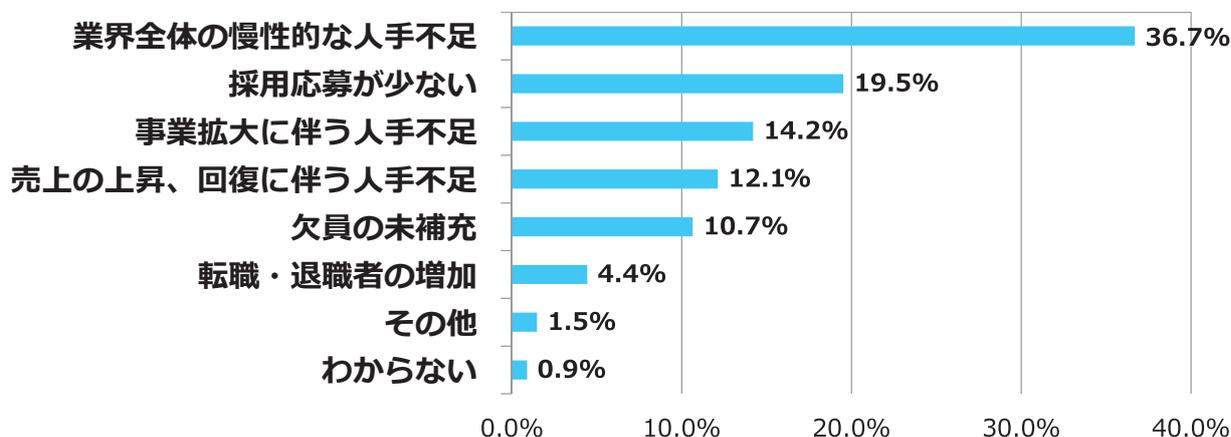
業種別では、製造業33.7%、建設業35.2%が「かなり不足している」または「やや不足している」と回答。また、「かなり不足している」の回答のうち、サービス業の割合は58.8%となっている。



●問2. ①問1で「かなり不足している」「やや不足している」と答えた方にお伺いします。人手が不足している主な原因は何ですか。

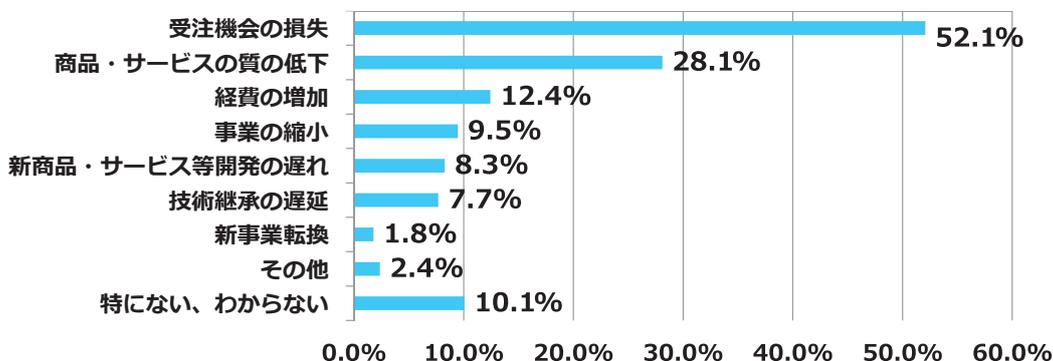
全業種総合で、回答された方の割合が高い3項目は、「業界全体の慢性的な人手不足」36.7%、「採用応募が少ない」19.5%、「事業拡大に伴う人手不足」12.1%となっている。

なお、卸売業を除く業種において、「業界全体の慢性的な人手不足」が回答上位となっている。



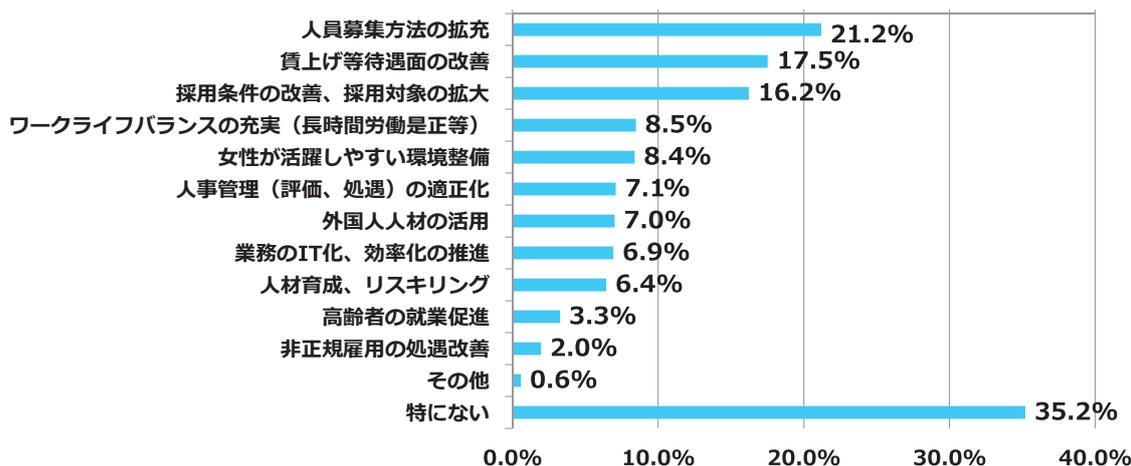
●問2. ②問1で「かなり不足している」「やや不足している」と答えた方にお伺いします。
人手不足は、どのような影響を及ぼしていますか。(複数回答・3つまで)

回答割合が高い項目は、「受注機会の損失」52.1%、「商品・サービスの質の低下」28.1%、「経費の増加」12.4%などとなっている。



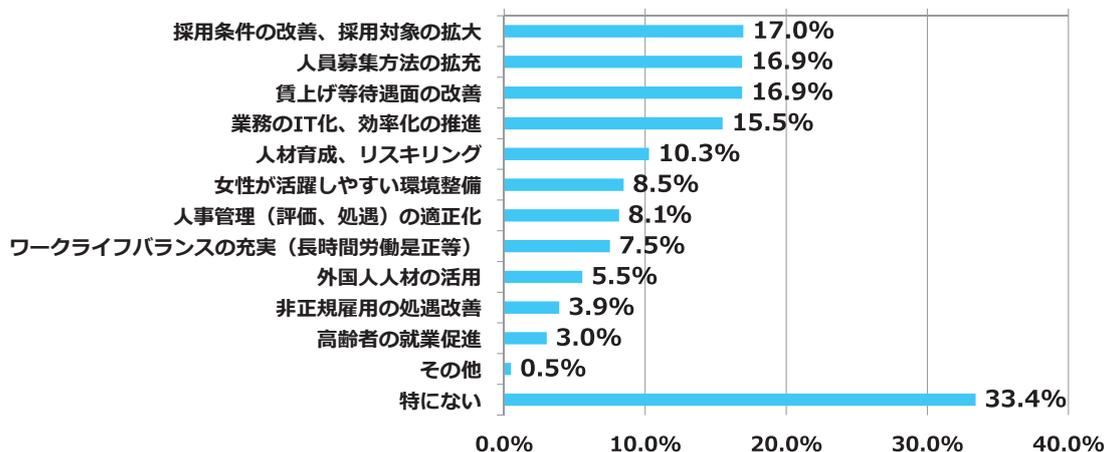
●問3. ①人手確保策について、既に実施したものは何ですか。(複数回答・3つまで)

回答割合が高い項目は、「人員募集方法の拡充」21.2%、「賃上げ等待遇面の改善」17.5%、「採用条件の改善、採用対象の拡大」16.2%などとなっている。



●問3. ②人手確保策について、今後実施を検討しているものは何ですか。(複数回答・3つまで)

回答割合が高い項目は、「採用条件の改善、採用対象の拡大」17.0%、「人員募集方法の拡充」16.9%、「賃上げ等待遇面の改善」16.9%などとなっている。



スポットライト ～がんばる地元企業～



みんなの想いを、超満点のカタチにしよう
有限会社 **まんてん.**



所在地：豊橋市神野新田町字ヲノ割 40-1
事業：メヒカリ・ニグスの加工・卸売
代表者：黒田孝弘
設立：2004年8月
従業員：20名
TEL：0532-33-2461



―蒲郡産の深海魚「メヒカリ」を通じて「持続可能性のある食文化」を提案する。

「SDGs」と「深海魚」。一見、結びつかなさそうな2つのモノを掛け合わせて、より良い地域の食文化を生み出しているのが有限会社まんてん。（代表取締役 黒田孝弘）だ。同社では、近年新たな水産資源としても注目されている深海魚の「メヒカリ」に着目し、その魅力を存分に引き出し、新たな食文化を創造することで、食べる人、従業員、地域社会の「三方よし」を実現している。

みんなの想いを「まんてん。」に。

地域産業資源「蒲郡メヒカリ」を加工・販売する会社

有限会社まんてん。（以下「まんてん.」）は、平成16年に設立し、学校給食向けの製品製造からスタートした。隣接する蒲郡の漁港から水揚げされる魚介類を仕入れ、魚フライやから揚げにして提供している。

特に、まんてん. の代名詞となっている魚が、水深2～400mに生息する深海魚「メヒカリ」である。蒲郡メヒカリは、県内水揚量の約95%を占め、地域産業資源にも指定されている。まんてん. では創業当初にメヒカリと出会い、地道な販路開拓を積み重ね、今ではその取扱量も年間100t以上になっている。



カルシウムはししゃもの約2倍、「栄養満点」の魚「子ども達に食べて欲しい」県内ほとんどの給食で

メヒカリはあまり知られていないが、カルシウムがししゃもの約2倍、鉄分はマグロの約3倍と栄養価が高く、旨味成分のグルタミン酸もサンマの約2倍含まれ「食べて美味しく、身体に嬉しい」魚である。代表の黒田はそんなメヒカリの魅力を、まず地域の子供達に伝えたいと想った。しかし、若者の魚離れが進む中では、良い製品を作るだけでなく、もっと魚を身近

に感じてもらうことが大事だと考えた。そこで、まんてん. では、10年以上前から小学校で「メヒカリの教室」を開催し、子供達と一緒に調理実習を行っている。百聞は一見に如かずという言葉どおり、子供たちは実際に自分の手でメヒカリに触れ、調理・試食することで、メヒカリの美味しさを体感できる。また、大学にも足を運び、栄養士を志す学生たちの前で講義を行うなど、メヒカリの認知度を高めてきた。こうした取組みが学校給食の栄養士にも知れ渡り、現在では愛知県内のほとんどの学校給食でメヒカリが食べられている。



「メヒカリの教室」で子供たちに魚の魅力を伝える

メヒカリの「アラ」を使い、三谷水産高校と商品開発

魚の身を切り出したあとに残る部分を「アラ」というが、まんてん. では加工の際に頭と内臓がアラとして残っていた。そこで、蒲郡の三谷水産高校の生徒5名と一緒にアイデアを出し、試行錯誤の上、開発したのが魚醬「深輝（しんき）」である。

また、これを機に竹島水族館小林館長監修の深輝を使ったカレー「メヒカリ」を始め、魚醬サイダー、魚醬ドレッシング、魚醬ぼん酢、深海味ラーメンなど、新商品開発にも積極的に取り組むようになり、クラウドファンディングでも人気の商品となった。

コロナで休校続出、「うずら卵」加工挑戦を決意

これまで主に学校給食で安定した収益を生み出していたまんてん。だが、コロナの影響で休校する学校が続出し、学校給食自体が無くなるという事態に直面した。新たな収益の柱を模索する中、取引先から「うずら卵」のフライ加工に関する依頼が舞い込んできた。これまでの魚の加工ノウハウを活かし試行錯誤しながらも、うずら卵の加工に挑戦したことで売上回復の兆しが見えたため、本格的に参入することを決意した。

しかし、新事業の展開となれば要求される数量や品質条件など、これまでと異なる部分も多く、現状の生産能力では限界があった。そこで、新たな生産体制を整えるべく、豊橋信用金庫に相談しながら事業再構築補助金の事業計画を固めていった。

最先端技術を搭載した「トンネルフリーザー®」 環境負荷が少なく、地球にも人にも優しい製品づくり

うずら卵の加工は中～大ロットの量産であるため、加工能力の増強と品質の安定が必須であった。そこで、最新の急速冷凍・凍結技術を搭載した「トンネルフリーザー®」を導入し、生産性の向上を図ることにした。トンネルフリーザー®を使用することで、加工した製品がトンネル内を通過する間に急速冷凍・凍結されるため旨味を閉じ込めることができる。その結果、労働生産性の向上とともに品質が安定し、賞味期限も365日間と長期化することになった。

また、地球温暖化の原因となるフロンを使わない自然冷凍システムを採用しているため、温室効果ガスの抑制、消費電力の削減などに繋がり、地球にも優しい生産体制を構築することができた。これまでまんてん。が取り組んできた食品ロスのお取り組みや食育などがここにきて「サステナブル」「SDGs」というキーワードで繋がる格好となった。



地球にも人にも優しいサステナブルな製品づくり

目指すのは「持続可能性のある食文化」

⑫つくる責任、使う責任 ⑭海の豊かさを守ろう

実は近年、海の生態系バランスを崩さないために「未利用魚を活用すべき」という声が上がっており、深海魚はSDGsの観点から「地球に優しい食材」としても注目が集まっている。2023年に入りコロナがようやく5類に引下げとなり、学校も再開したことで、メヒカリの学校給食への提供も回復してきた。導入したトンネルフリーザー®によって、メヒカリ加工の生産能力も向上し、更に美味しくなったメヒカリが子供たちの元に届けられ、心なしか笑顔が増えたように感じている。

出会った人の心を「満点、にする「めひかりくん®」

まんてん。には、メヒカリを広めるため「めひかりくん®」というキャラクターがいる。しかし、豊橋信用金庫の担当者は次のように言う。「黒田社長こそが、めひかりくん。黒田社長には出会った人を必ず笑顔にできる深い魅力がある。だからこそ、まんてん。さんを応援したいと思える。」実際に、展示会等のイベントに出展する際には、めひかりくん®の被り物をした黒田社長が、恥ずかしげもなく前面に立って接客をしている姿が印象的だ。いつでも、出会った人の心を「満点、にする黒田社長だからこそ、地域でここまでメヒカリの魅力が広まったのかもしれない。



右：めひかりくん®の被り物で商品をPRする黒田社長

「メヒカリ普及協会発足しました。」

2023年7月25日、黒田社長を中心に発足した「メヒカリ普及協会」では、福島県や静岡県ของบริษัท社長などもメンバーとなり、全国に向けてイベント企画や情報発信を行っていく。アンコウ・ノドグロという深海魚の2大巨頭にメヒカリが並び立つ未来を見据え、まんてん。は着実に、たしかな挑戦を積み重ねていく。

【豊橋信用金庫 牟呂支店・事業支援部】

Toyohashi Thinking



LINE 公式アカウント

とよしのキャンペーン情報や地域の情報など
おトクな情報をお届け！
抽選でクーポンをプレゼント！



@toyoshin

地域に届ける、経営の知的情報。

とよしん 経営サポート



Facebook

補助金や経営お役立ち情報など経営支援に関する
情報をお届け中！



Instagram

経営支援活動の様子や
地域の面白い中小企業などを紹介！



通帳は“紙”から“アプリ”へ

しんきん通帳アプリ

いつでもどこでも
入出金明細や残高をスマホで確認！



＼みんなにエール！／

豊橋信用金庫